

令和6年度長野県教育委員会免許法認定講習

講座5「英文解釈」

講師： 8月24日（土）友田 義行 先生（甲南大学文学部 日本語日本文学科・教授）

10月12日（土）金子 史彦 先生（信州大学学術研究院教育学系・准教授）

1. 講座概要

学習指導要領における文学的教材の位置付けを踏まえ、英語教育において文学的教材を使用する意義を考察する。児童文学作品を基に、授業での指導に必要な英米文学に関する基礎的な知識を習得するとともに、文学的教材がもつ語彙表現、構文、文脈等の特性に着目し、英語教育における効果的な活用法を探る。

2. 受講者の声

- ・原文と比較したり、原作者の考えや翻訳者のねらい、背景にあるものまで含めて読解したりしたことはありませんでした。新しい楽しさを見出すことができました。
- ・翻訳者が原文に忠実に訳されていることにびっくりした。日本語でも同じ効果を使って原文を損なわないように単語や文章構造を選んでいることが分かり、内容の理解の深まりとともに、英語の学習や英語圏の国の文化についても理解ができた。
- ・言葉遊びは、小学生にも楽しめることだと思います。なので、tail と tale が同じ発音に聞こえるが、スペルが違って意味も全然違うということは、児童に驚きをあたえ、英語という言語に興味をもたせるのに有効だと思います。
- ・英語は語順が安定していて、S+V+Oなどの形で表せます。一方、日本語は格助詞によって決まり、語順は固定されていない言語であるというそれぞれの特性を、英語と日本語を比較することで学ぶことができると思いました。

3. 参考資料

信州大学教育学部『『不思議の国のアリス』を用いた言語横断的な英語教育』,金子史彦(参照 2025-3-17)

https://soar-ir.repo.nii.ac.jp/record/2002018/files/Vol.18_1-3.pdf